



協力会だより

第46号

発行 山梨県立考古博物館協力会

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923

発行日 令和 5年4月1日発行

電話 055-266-3881

ホームページ www.y-kyouryokukai.jp/

令和4年度 協力会 1年間の記録



静岡市登呂博物館にて交流会

県史跡 加牟那塚古墳



静岡市史跡 賤機山古墳



静岡市登呂博物館見学

R4活動

- ・令和4年度考古博物館協力会総会 (4/9)
- ・ミュージアムショップ (4~12月)
- ・ボランティアガイド (4~12月)
- ・学校勾玉作り・火起こし体験補助 (4~12月)
- ・こどもまつり (5/3・4)
- ・特別展準備作業 (9/21・22)
- ・第39回特別展「甲斐の勇者」 (9/28~11/23)
- ・常設展復旧作業 (11/27・28)
- ・県民の日イベント「甲斐の勇者の冒険」 (11/20)
- ・考古博de春まつり (3/5)

R4研修

- ・勾玉作り、火起こし研修 (4/20・23)
- ・春季企画展勉強会 (5/12・16)
- ・夏季企画展勉強会 (7/18・8/1)
- ・特別展勉強会 (10/4・9)
- ・県外研修 (12/14)
- ・冬季企画展勉強会 (12/17・1/17)
- ・県内研修 (2/19)

写真とともに
振り返る
活動・研修
記録

【勾玉・火起こし研修】



【こどもまつり】



【常設展撤収・復旧作業】



【ふれあいまつり】【県民の日イベント】【春まつり】



【春季勉強会】【夏季勉強会】【特別展勉強会】【冬季勉強会】



令和4年度 協力会総会

令和4年4月9日（土）、風土記の丘研修センターにて山梨県立考古博物館協力会総会が開かれ、10年間協力員を務めていただいている9名の方々に永年感謝状が贈呈されました。また記念品として学芸課長手作りの鍬と蜜柑玉をプレゼントさせていただきました。



今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記念講演会を行わず、人数を制限させていただきながらの開催となりました。しかし、昨年と比べると実施したイベントも増え、徐々に明るい兆しも見えてきています。

協力会は今年40年を迎えました。40年という長きに渡り受け継がれてきた諸活動を大切にしながら、更に発展、躍進していきたいと思っております。

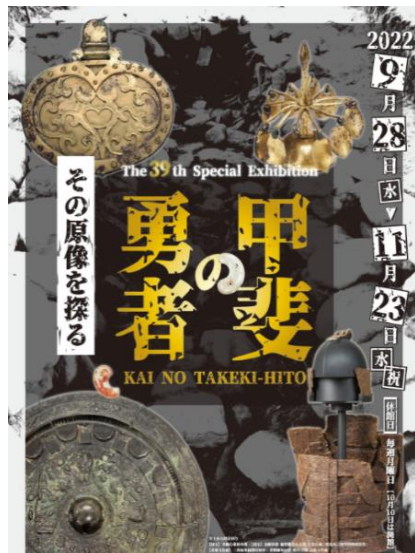
お忙しい中、総会にご出席いただき、ありがとうございました。



第39回 特別展 「甲斐の勇者」

令和4年9月28日（水）～11月23日（水）の期間、第39回特別展『甲斐の勇者-その原像を探る-』が開催されました。会期中は、埋蔵文化財センター 小林 健二 氏、富士市教育委員会 藤村 翔 氏、明治大学文学部 若狭 徹 氏による記念講演会が開かれ、多くの方から好評をいただきました。

日本書紀にある「甲斐勇者」というわずか一言の記述。謎に包まれた甲斐の勇者はどんな人物だったのか。そんな問いから始まった今回の特別展。50日間の会期中、県内外から多くの方にご来館いただき、入館者は5,600人を超えました。山梨県内の古墳はもとより、群馬県綿貫観音山古墳出土品、金銅歩揺（国宝）、大阪府野中古墳出土品、三角板革綴襟付短甲・革製衝角冑（重要文化財）等、各地から集められた遺物からは、古墳時代における被葬者像とその歴史的背景が垣間見え、盛況のもと特別展は終了しました。



協力員のみなさまには、会期前後に行われた常設展の撤収作業、復旧作業、特別展お当番と多方面で御協力いただきました。

県外研修
12/14
登呂博物館
賤機山古墳

コロナ禍で中止となっていた県外研修でしたが、今年、4年ぶりに実施することができました。今回の県外研修は、令和元年に訪問予定だった登呂博物館と、「甲斐の勇者」特別展に関連した賤機山古墳を訪れました。現地の方も、こんな日はめずらしいというほどの強風吹きすさぶ中でしたが、楽しく充実した時間を過ごすことができました。

最初に訪れた静岡市立登呂博物館では、ボランティアさんの一年間の活動を紹介していただき、館内を見学しました。各ブースでボランティアさんが丁寧に対応してくださり、分かりやすい解説と、疑問に思ったことをすぐに聞ける環境に、登呂博物館のホスピタリティを感じました。登呂遺跡では竪穴住居が建ち並び、弥生時代の竪穴住居の大きさに驚かされました。6つのグループに分かれて行った座談会にも、多くのボランティアさんにご参加いただき、貴重な時間を過ごすことができました。

午後は、賤機山古墳の石室を見学しました。ライトで照らされた石棺はとても美しく、石室内の大きな石から不思議な力を感じました。実踏の良さを改めて知った研修会となりました。県外研修にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



【協力員さんの研修記】

窪寺康一さん

12月14日、天気晴朗なれど風強し。

登呂遺跡は子供たちが小学校低学年のころ、弥生時代は米作りだ、の知識で行ったことがありました。かれこれ半世紀以上前のことです。今回、出土物の木製品遺物を見て特に感じたのは、高床式建物でホソ穴を穿ち棒状の柄を差し込んで建物を組み立てていた。釘を使わない日本建築の匠は弥生人にあった、と勝手に解釈しました。静岡のボランティアとの意見交換も有意義でありました。

午後からの賤機山古墳、現地で急な石段を見て、足を弱めた私にはとても無理と諦めたところ、職員のサポートを受けて古墳までたどり着くことができました。

現地では市担当者の配慮で玄室まで入場でき、私は家形石棺を近くで見るのは初めてでした。これらは、忘れることのできない思い出になるだろう。

コロナ禍で久しぶりの県外研修、桜エビ、白魚に黒はんぺん、かつおの煮つけにわさび漬け等、静岡色豊かな昼食、旅行支援のクーポンによる買い物など、これら計画されたスタッフ一同に感謝いたします。

北村正仁さん

何年ぶりだろうか？マスクを通り抜けた海の香を聞くのは！

静岡市立登呂博物館、思えば 10 数年前、孫二人をつれて訪れた時とは、すっかり整備された館内に感慨も一入ながら、弥生時代を伝えてくれるボランティア 10 数名と職員に迎えられる、楽しい時を過ごしました。特にボランティアさん全員が貫頭衣を着て、交流会ができたことはとても参考になり、これからの協力会の運営にも役立つことでした。

次に見学した賤機山古墳の急階段にはまいりましたが、強風の中、小高い山の上に古代の人は大きな岩をどのようにして運んできたのかと考えてしまいました。クーポン券、有効に使わせてもらいました。

藤原尚美さん

登呂遺跡は、小学生の夏休みに家族と訪れたことがあったので楽しみにしていました。あれから十数年、歴史公園として整備された復元住居や復元水田などが広がる敷地と博物館の充実した常設展示や弥生体験展示などを見学して、弥生人の暮らしぶりに触れることができました。また、遺跡発見のきっかけが出土した丸木船であったことや住宅などの建物にスギが多く使われていたこと、遺跡から琴がみつかったことも知りました。さらに、指導員やボランティアスタッフの方々と交流で聞いた活動のようすも参考になりました。

次に訪れた賤機山古墳は、6世紀の有力豪族の墓と思われる円墳で賤機山南端の屋根上にあり、高齢の私には上るのが大変でした。古墳からの見晴らしはよいのですが、横穴式石室にある家型石棺や石室を通っている巨石を、どのようにして運んだのか興味がわきました。また、賤機山の南麓には徳川家康ゆかりの重要文化財に指定されている静岡浅間神社があり極彩色の華麗な社殿がいくつも立ち並んでいて、目を見張る美しさでした。機会があったら再び神社三社を訪れてゆっくり見学したいなと思いました。今回の県外研修は、静岡の歴史の一端を知る機会になりました。計画してくださった方々に感謝いたします。ありがとうございました。

宮本智子さん

研修ご苦労様でした。登呂遺跡には、前に行ったことはありましたが、駆け回る子供達と一緒にだったので、竪穴住居と水田の意味は全然理解できませんでした。竪穴住居と水田はただの家と田んぼではないのですネ。私たちの原型はこの頃から始まったと思うと、ここの風景は深いなあと思いました。また来たいです。

賤機山古墳も良かったです。内部も最高でした。奈良の石舞台古墳も周りはこんな風だったのかしらと想像しました。企画された皆さまありがとうございました。

薦木りえさん

久しぶりの県外研修。風は強いがお天気恵まれ、朝 8 時風土記の丘を出発。午前には小学校の遠足以来の登呂遺跡を見学。大勢の弥生びとに迎えられ、交流と展示物、体験コーナー、復元住居、ショップとを回り。ボランティアの方々の熱心さに圧倒されました。ショップでは 声を掛けた方に古代米のサンプルを頂けて、仕事で活用する事が出来ました。

美味しい昼食の後は、賤機山古墳の見学。石室の積み上げた石の大きさ堅牢さに驚きました。浅間神社では、何でも願いが叶う馬にお参り。

静岡 SA にてクーポンでいつもよりもちょっと贅沢にお土産を購入と、とても楽しく有意義な 1 日となりました。

梶月美さん

登呂遺跡は昭和 27 年に国の特別史跡に指定された弥生時代の稲作農耕集落を再現した歴史公園でした。博物館は平成 22 年にリニューアルされて弥生時代の稲作が体験学習できるようになっていました。

交流会ではボランティアの活動日数が多いのに驚きました。改めて山梨県立考古博物館もリニューアルして新しくなるといいなと思いました。

丹澤恵美子さん

12月14日の県外研修、最初の見学地は特別史跡の登呂遺跡と登呂博物館でした。登呂遺跡には数十年前に行ったことがあり、初めて見た弥生時代の遺跡に感動したことを覚えています。今回の見学では、遺跡の周りの様子が随分変わっていることに驚きました。博物館の見学で一番興味をもったところは、「弥生体験展示室」でした。見学だけでなく体験することで、より一層その時代の人々の暮らしを知ることができます。ボランティアの方々との交流会では、お互いの活動状況について情報交換ができ、有意義な話し合いとなりました。

午後は賤機山古墳の見学でした。急な石段を登って・登って・登って・・・やっと着きました。古墳の形は円墳です。横穴式石室内の巨大な石にはとても驚きました。石段はきつかったのですが、見る価値のある古墳でした。帰りにはクーポン券でお土産を買うこともでき、コロナ禍でしたが楽しく充実した研修となりました。事務局の皆さんに感謝いたします。

**清水一茂さん**

登呂博物館の方やボランティアの方の良い人あたり、対話ができました。協力会の活動に役立っています。クーポンで買い物ことができました。ありがとうございます。また両施設などじっくり見学したいと思います。

幡野明世さん

協力員となって初めての研修であり、又新型コロナウイルス感染以降閉ざされていた門がようやく開き、無事に行くことが出来て本当に良かったと安堵している。教科書にも必ず載せられている登呂遺跡は、まだ一度も行ったことがなかったので、大変楽しみにしていた。70数点にも及ぶ国の重要文化財の数の多さには驚かされたし、又木材の浸食が進まず、ほぼ原型を留め古代人の生活様式を詳細に知ることができたのも興味深かった。山梨と静岡の文化は、点と点ではなく、古来から直線につながって来たのだと改めて実感する事が出来た。

賤機山古墳では、石室の内部に入ることが出来、石室内の石質が伊豆の方面から運ばれてきたのではないかと説明を聞き、出来上がるまでの古代人の圧倒的パワーを感じる事が出来た。協力員との交流会では、それぞれの人達の得意の分野に携わって活躍されているというお話を伺い、個々の個性に合わせて活動のあり方もあるのだと参考にする事が出来た。現代人の祖先にあたる古代人の生活様式や文化を知ることが、文明の利器に浸りすぎた我々にとって、歴史をもう一度学び直すきっかけを与えてくれたそんな有意義な研修でした。

渡辺俊夫さん

ボランティアに参加し一年が経ちました。研修会の参加は初めてです。最初の訪問地は、かつて私が小学校の時に訪れた登呂博物館。弥生時代の住居跡の復元を見て、あの頃の思い出がよみがえってきました。博物館はかつて、今のような建物があつたか記憶にはありませんが、なにかほのぼのとした気持ちになりました。

今、私は発掘調査の仕事に関わっています。古代の古物に興味があつたので今回の研修は楽しみでした。発掘調査の現場の復元、住居を見ると、また違った思いを感じました。博物館での説明は、とても解りやすく、また一つ知識を得ることができました。賤機山古墳では、初めて内部を見ることができて、驚くことばかりでした。石室の奥に14tの石が置かれているのには、びっくり！！あつというまの一日でした。古い時代の話や、実際目で見たり、また皆さんと色々な話ができたりと、ますます古代にはせる一日となりました。ありがとうございました。



加藤浩さん

コロナ禍で出来なかった県外研修に参加した。初めてであり協力員との交流も期待して研修センターに集合、7時半の集合は寒く風も吹いて先が思いやられたが、バスの中は快適で、課長から道々の説明が有り、発掘の状況や遺跡の場所が再確認できた。完熟農園の跡の発掘は大掛かりであり何が出るか楽しみだが、文化財保護の発掘費用もばかにならない気がする。

登呂遺跡は学生の頃、何回か訪問したが周りが随分変わっていた。遺跡の協力員の方々の対応の仕方や職員の説明はよく分かった。遺跡を見て思うのは古代人の技能の高さでもある、倉庫や家、神殿などの板材の加工、ネズミ返しの発想、また住居などはどこの遺跡も同じ形であり遺跡間の交流があったのか、どういう手段で伝達されたのかと思う。

扇状地の為、鉄器類は残っていないとか、黒曜石は弥生時代には使われなかったと言うが、それらの道具はどうやって伝わったのか、入手方法は、と知りたくなる。稲作も一カ所だけの遺跡があるだけで他にはないのか、稲作は日本のどこから伝わったのかも知りたかった。生活用水はどうしたのか、糞便の処理は？200年もこの場所で農作が行われたと言うならば、肥料等はどうしたのか、その辺の調べはあるのかないのか。

賤機山古墳は浅間さんの裏山にあり勾配がきつく、一気に登るには辛かった。どこの古墳でも大きな石を使ってあり、運搬や積み上げはどうやったのか未だ教われない。また横穴式はほとんど同じ形だが、どうやってそのようなやり方が伝達されたのか、興味が有るところである。

昼食は茶桜エビのかき揚げや生シラス、ナスのみそ焼き、刺身、海辺だけあり刺身は旨い。桜エビも名物だけに堪能した。クーポン付きなので普段は買わないお土産をしっかりと買い込んだ。良い研修だった。参加者が27人でバスにゆとりが有りのんびりできた。

企画をし、おぜん立てをして頂いた職員の方は大変だったと思うが、その分小生は楽しめた。感謝に堪えない。残念なのは協力員同士の交流の場がなかったことである。曜日が違えば会うことも減多となく、協力会員と親交できずお互いを知る機会がないのだからこのチャンスを生かす工夫が有れば良かったと思う。登呂遺跡の協力員は、ある程度の歴史的勉強会を組織的にやっているような感じが有った。山梨も基本的には学んだがフォローアップの追加の学びが有っても良いのではないかと思う。特設展、企画展についての説明会でそれに対する学びは有るが、一貫した考古学に関する学びの機会が欲しいと思う。

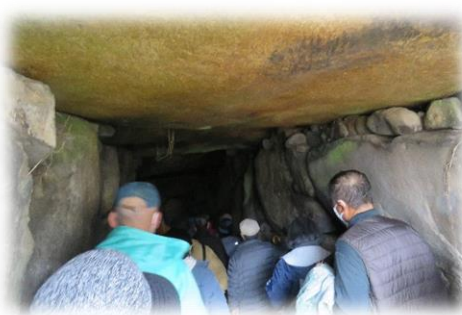


**県内研修
2/19
加牟那塚古墳
万寿森古墳**

天気予報では一週間前から雨予報。中止にすべきか悩んだものの、当日は晴れるかもしれない、という淡い期待も空しく、雨の中での研修会となりました。甲府にこんな場所が、こんな謂われが…と、身近な場所の



新たな発見に心躍らせながら、約6kmの道のりを歩きました。甲府市教育委員会の平塚氏には分かりやすく興味深い解説をしていただきました。ありがとうございました。



矢穴



【協力員さんの研修記】

宮本智子さん

良かったです。万寿森古墳も加牟那塚古墳も中に入って見学できたのは感激でした。古代人の古墳へのエネルギーが感じられて、ますます好きになりました。なぜここに？これは墓なの？中には何があったんだろう？等疑問は次々に浮かんでいきます。謎解き探検もやってみたくなりました。黒耀石体験ミュージアムや黒耀石の水など、こんな近くに好きな縄文人に会える場所があると思うと、身近に“彼ら”を感じられてうれしい限りです。

北村正仁さん

誰だ！雨男は？実は私でした。申し訳ありません。でも救いは暖かかったので、歩いていると汗をかきほぐしてました。緑が丘から万寿森古墳へ、湯村温泉郷を抜けて加牟那塚古墳へやっとの思いでたどり着き、ほっとしてまもなく、また同じ距離を歩かなければと思うと、何度もリタイアしようと思いましたが気力で皆さまの最後尾をトボトボと付いてまいりました。両古墳は昔から何度も見えますので、新たに塩澤寺裏山の太平1号・2号墳になんとか這い上がり、千塚の名の由来が実体験できました。徒歩での研修も私的にはこれが最後と思うと、改めて感動と感謝の念で一ぱいです。

丹澤恵美子さん

2月19日の県内研修に参加しました。見学地は甲府市の湯村温泉郷の史跡です。県指定史跡の万寿森古墳と加牟那塚古墳。今回は石室の中に入ることができ、その広さを実感しました。2つの古墳の石室の形や石の積み方の違いなどについて、講師の平塚さんに詳しく説明していただき勉強になりました。石室の石については、万寿森古墳の石は湯村山から切り出された安山岩が使われているようですが、加牟那塚古墳の石には花こう岩も使われており、広い範囲から石を持ってきていることがわかるそうです。当日はあいにくの雨でしたが、太平古墳群なども見学でき、有意義な研修となりました。ありがとうございました。

宮城栄子さん

小雨の中、緑が丘スポーツ公園を出発し、約3時間湯村千塚地区の古墳を徒歩で見学した。奈良の大学に通う息子を訪れて何度も古墳を見学してきたが、地元山梨の古墳見学それも内部にまで足を踏み入れることは初めてで、本当に楽しかった。甲府に生まれ育ったにもかかわらず、まだまだ知らずにいたことが多く、協力員として活動させていただく機会を得たことが、まもなく子育てを卒業する今後の私の人生に大きなチャンスを提供したと思いき、幸せに思う。今回の見学では、南を向いて入口が作られていることに、どのような技術と知識が生かされていたのかが大きな疑問として残ったので、自身への宿題にしてみようと思った。ありがとうございました。

内藤敏夫さん

小雨降る肌寒さの中、甲府盆地北部で営まれた古墳時代の生活の痕跡や古墳を訪ねる研修でした。万寿森古墳、湯谷神社、加牟那塚古墳、塩澤寺、太平1・2号墳を甲府市教育委員会平塚係長さんからの説明による徒歩研修でした。石室内に入り大きな石積みを見ると、葬られた人の地位はもちろん地域の人々の死者への祈りが感じられました。

昨年、緑が丘球場近くで、私より年上の感じの女性と立ち話をしました。「この辺りは高台で富士山や南アルプス、甲府盆地などが一望できて爽快ですね、こんな所に住めたらいいですね。」と声を掛けると、「ああ、ずっと下（しも）だね。」と眺めるように返されました。この地域で古墳時代に生活した人々は、こんな爽快な気持ちで生活していたのでしょうか。葬られた豪族なども、地域を眺められる場所を選んだのがよく分かります。

久しぶりに会えた協力員の皆さんは元気はつらつ、会話も弾み心も和らぐ楽しいひとときでした。研修の企画や資料等の準備をして頂いた、事務局や職員の皆さんに感謝致します。次回の研修も楽しみにしています。

穂坂はるみさん

「古墳巡り」という私の大好きなテーマで楽しみにしていた県内研修はあいにくの雨でした。私は、こうして古い時代の人々の生活の痕跡に触れる時、当時を生きた人達の知恵と高い技術、そして、今のように十分な道具もない中で作成に長い年月を要したであろう時間を思い、いつも畏敬の念を抱きます。そして今回もその想いは例外ではなく、石室の中に入れていただいたことで、使用した石の大きさ、形を間近に見て、触れることでさらにその想いを強くしました。どんな人々が何を見て、何を思い、どんな生活をしていたのか考える時間がワクワクして楽しくて大好きです。

冷たい雨の中でしたが、古墳以外の神社の参拝方法や本殿の造りの話、五輪塔の話、発掘、文化財保護の話、休憩の合間の時間の小話も面白く、興味深い内容で雨でも行ってよかったと思えるとても有意義な研修でした。ガイドしてくださった平塚さん、企画進行の職員の皆様、ありがとうございました。

堀内道子さん

生憎の雨模様の中での研修となりました。緑ヶ丘スポーツ公園を、出発して万寿森古墳へと向かいます。想像していたよりかなり大きく高さもありました。県内で 3 番目の大きさとの事です。石室の内部は、奥行きもあり、大きな石を天井に使用して、側壁もほぼ垂直に形成されていて、技術力があつた事が伺えます。そこから数 100m 離れた所に、万寿森古墳に使用された石が、切り出された石切場がありまして検証します。その当時に大きな石を運ぶのは困難な事であつたと思われます。散策路を湯谷神社へと進みます。神様への御参りの作法等を教えていただき、そこから庚申塚を見て、庚申の夜の過ごし方などに、話は広がります。

さらに歩を進めて、次は加牟那塚古墳へ到着します。こちらの石室も大きな石を使用しております。県内 2 番目の大きさとのことです。石室の側壁は なぜか目だった凸凹があります。時代の権力者が力を誇示し、人々を統率、もしくは支配する等の何かしらの意図の基に造られたのかと、思いを馳せます。次は塩澤寺を参拝し、板碑に彫られた梵字、無縫塔を見て大平 1 号墳、2 号墳を見学しました。古墳の周囲には木立が茂り、風情があります。6 世紀から 7 世紀にかけて造られたいくつもの古墳が、住宅地の範囲内に点在しており、その時々において、火薬庫や倉庫として使用されながらも、現存していることに感動しました。

雨の中、3 時間弱での散策でした。石室の中も見学ができ、甲府の古墳文化に触れ、大変有意義な時間を、過ごすことができました。講師の先生方並びに、考古博物館の先生方、職員の皆様に、感謝申し上げます。ありがとうございました。

清水一茂さん

甲府市北部の万寿森古墳から石室の見学です。奥行きがあり数十人でも入れました。石積はよく見られました。ここの石室の石は、近くの山裾の石切場から切り出しており、みられました。鉄工具で行ったのでしょう。また米を食べながら作業したと思いました。

湯谷神社を見学し湯村温泉の始まりとなったのです。次に加牟那塚古墳は石室の石材が大きくなっており、石種もいろいろとあるようで、さらに大きな内部を見学できました。ここには円筒たち盾、馬形、武人のはにわが立てられたそうです。あとで調べてみました。ありがとうございました。

柊月美さん

2/19(日)雨、今日は県内研修日。集合場所は緑が丘公園。湯村千塚に古墳があつて見ることができると言うことで参加しました。雨の中での行動は大変でしたが、古墳の中に入ることもできました。古墳の中で当時の権力者の力を感じました。天気の良い日に又行ってみたいと思います。



加藤浩さん

雨が降る中の散策になったが気温が比較的高く寒くはなかった。緑が丘公園を出発してから千塚公園までのルートを歩く。歩数にして一万歩になった。

古墳の中にも入れた。いつも感じることだが、どのようにして石を採り運び積み上げたか又、方角も確認して作られていることに、古代人の能力や知恵をどのように付けたかに思いがいたる。説明の中で、地名の言われの話があり、千塚の名前が千の塚があったのではないかとか、加牟那塚が金塚とか言われていたとか聞くと、おそろかに地名の変更をすべきではないと思う。過去の名前の意味合いが忘れ去られて過去に戻る手段が失われる気がする。万寿森の遺跡は過去の人が弾薬庫とか倉庫として使った為、床が舗装されて入れ今一だった。

墳墓の崇高性が失われて個人への冒流を感じる。無知なるが故か。今後もこのような研修会に参加して、古代を学び日本人の精神ルーツを感じて行きたいと思う。

雨の中、職員の方々は大変だったと思います。有難うございました。

山縣仁美さん

せっかくの研修に好天を祈っていたのですが、あいにくの雨の中、傘を差しての道のりになりました。

甲府市内の身近にある史跡も専門家に案内解説していただくとその意義や価値が良くわかり、とても良かったです。特に、普通では見ることのできない古墳の石室の中を案内していただいたことは、貴重な体験になりました。古墳だけでなく、途中にあった湯谷神社や塩澤寺、石切場など、そこにあることは知っていても、解説板を読んだりじっくり見たりすることのなかった史跡をしっかり勉強できた気がします。さらに、駐車場を利用した緑が丘の成り立ちや立派な藤の木の紹介もあり、実り多い研修になりました。

ただ残念だったことは、大人数だったため、遅れて到着すると解説を聞き逃すことになったり、よく聞こえないときがありました。また傘を差していたのでメモを取りずらく、皆さんマスクをしているので、どなたがいらっしゃるか、すぐには分からないことも残念でした。豪華なお弁当が用意されていたので、これが皆さんと食べられたら最高だったのに…と思いました。ベストな天候ではない中、準備・運営してくださった皆様に感謝いたします。

村松暢子さん

県内研修の企画実施ありがとうございました。集合場所が考古博物館や風土記の丘ではなかったのですが、「イベント中」ののぼりがあったので、不安なく駐車場に車を入れることができました。

雨が大雨か小雨か微妙な感じでしたが、実施していただきよかったです。子どもの頃、塩部に住んでいましたが、近くの万寿森古墳や塩澤寺の上にある古墳は知らなかったのでワクワクしました。加牟那塚古墳は格子ドアがズレていてすきまから入り込みましたが…。周囲にあんなにたくさん家もなかった気がしました。

どの遺跡も甲府市の平塚様がポイントを説明してくださり、わかりやすく勉強になりました。トイレ休憩中でも待ち時間のお話で持てあますことなくよかったです。歩きながら話すときはスピーカーが後ろに聞こえず、せっかくの説明が聞き取れないことが残念でした。



千支うさぎの土鈴。

振るととても素敵

な音がするよ。

北村 正仁さん 作

**【編集後記】**

いつも明るくさわやかな協力員さんに支えられ、楽しく充実した活動を行うことができました。令和5年度は開館満40周年の節目の年であり、新規協力員さん18名も新しく加わります。中止していた各イベントも元通り再開しつつあります。協力会を通して素敵な出会いが生まれ、笑顔の輪を益々広げていけたらと思います。
(事務局)

印刷：株式会社峡南堂印刷所